



2. 科目履修上の注意

全学共通科目について

「全学共通科目」は、全学部・全学科に共通して開講される科目であり、「共生の理解」「スポーツ・日本文化」「キャリア」「日本語」「外国語」「人文」「社会」「自然」の各分野の科目から構成されます。これらを通じて、主に勤儉誠実の信念と共生き（ともいき）の理念及び総合的教養を身につけます。

- (1) 「共生の理解」では、必修科目として「共生人間論Ⅰ・Ⅱ」、その他「共生人間論実習」を配置し、仏教の立場から「共生き」について考えます。環境や他者の存在により自己が活かされていること、自己中心的な在り方の反省、自己能力の惜しみない提供、相互補完の精神などを学びます。
- (2) 「スポーツ・日本文化」では、「スポーツ」の実技授業として、バドミントン、テニス、バスケットボールなどの種目を開講し、これらを通じて、健康づくりの習慣、自己管理能力・チームワーク・勤儉誠実・共生きなどの態度を身につけます。また、「日本文化」の実技授業として、書道、茶道、華道、舞踊、幅広く歌舞伎、陶芸などを開講し、これらを通じて、総合的教養を身につけるとともに、日本の文化、思想、歴史について幅広く理解します。これらの科目には定員があるため、抽選エントリーを行います。抽選結果により履修登録を行ってください。
- (3) 「キャリア」の分野では、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」（必修）、「キャリアサポートⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を1年次から3年次まで継続的・体系的に開講し、これらを通じて、幅広い総合的教養、コミュニケーション・スキル、論理的思考力などを身につけます。また、3年次には「キャリア実践研究」「キャリア実務演習」を開講し、これらを通じて、専門的職業人としての倫理観・使命感・責任感、及び社会に適応し、その一員として社会の発展に貢献する態度を身につけます。さらに、「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」を開講し、情報通信技術を用いて、多様な情報を適切に取捨選択し、分析活用する技能を身につけます。
- (4) 「日本語」の分野では、「日本語表現法 A(音声)」「日本語表現法 B(文章)」を開講します。これらを通じて、日本語を用い、的確に読み、書き、聞き、話す技能（コミュニケーション・スキル）を身につけます。
- (5) 「外国語」の分野では、「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（Ⅰ・Ⅱは必修）、「英会話Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（Ⅰ・Ⅱは必修）、「基礎中国語Ⅰ・Ⅱ」を開講します。これらを通じて、外国語を用い、的確に読み、書き、聞き、話す技能（コミュニケーション・スキル）を身につけます。
- (6) 「人文」の分野では、「哲学」「倫理学」「心理学」「日本史」「世界史」「日本文学」「外国文学」「異文化理解」「日本文化論」「仏教文化史」を開講します。これらを通じて、総合的教養を身につけるとともに、多様な文化、思想、歴史について幅広く理解します。
- (7) 「社会」の分野では、「憲法と基本権」「社会生活と法」「暮らしと経済」「市民生活と政治」「社会の成り立ち」「高齢者と福祉」「国際事情」「社会保障論」「社会と福祉」を開講し、これらを通じて、幅広い総合的教養を身につけるとともに、社会と人間とのかかわりを総合的に理解します。
- (8) 「自然」の分野では、「健康と運動」「生活と環境」「自然と環境」「生命の科学」「生物学Ⅰ・Ⅱ」「化学Ⅰ・Ⅱ」「物理学」「数学」を開講します。これらを通じて、幅広い総合的教養を身につけるとともに、自然と人間とのかかわりを総合的に理解します。

スポーツ健康科学部科目について

次にあげる科目は履修登録や成績評価、授業の方法等において特徴のある科目です。履修登録前に熟読し十分な理解をしておいてください。

① 同一科目名の再履修について

単位を修得できなかった科目を、同一年度内に再履修することはできません。

② 共生人間論実習 A について

本学の目指す人間論は、頭や学問で理解するだけでは不十分であり、人間としての共生の生きざまを実践的に修得してはじめて身につく、という考え方に立っています。

「共生人間論実習 A」は選択科目です。「共生人間論 I」の授業を受けたうえ、自ら選択した施設等において4日間の実習に臨みます。

具体的な実施の方法は、下記のとおりです。

ア. 実習の対象となる学生にガイダンスを実施します。

イ. ガイダンスを受講し、実習の趣旨を十分に踏まえた上で各自が実習内容を立て、科目担当者の了解を得ます。

ウ. 実習内容の了解が得られたら、実習期間・施設などの内容を確定して報告承認を得ます。実習内容に沿った施設選択などは各自が交渉し、了承を得ることになります。

エ. 施設などで4日間の実習を行い、終了後『実習記録』を提出します。

オ. 事後報告会に出席し、実習で学んだことを報告・討議します。

③ 演習科目について

ア. 基礎演習は、基本的な学習スキル、読む・聞く・見る・検索するなどの情報収集能力及び必要な情報を取捨選択する能力や、その情報に基づいて結論を導く能力、その結論について書く・話すなどの表現・発信の能力を訓練するための必修科目です。各クラス20名程度で編成されます。

基礎演習 I・II のそれぞれの到達目標はどのクラスも同じです。

イ. 専門基礎演習は学生自身が主体的に一定のテーマに沿って実践的に学び、専門的知識を深め、その結果をまとめ、発表できる能力をつけるための必修科目です。

ウ. 専門演習は、各教員の専門分野を中心に指導を受け、各自の興味のある課題について調査・研究し、ゼミで発表する過程を通じて卒業研究あるいは研究成果の作成へと発展させていく、重要な必修科目です。各ゼミ15~20名程度で編成します。ゼミを自由に選択できますが、専門演習 I・II（3年次）、専門演習 III・IV（4年次）は、原則として同じゼミに所属してください。